

地下鉄七隈線沿線 福岡大学／中村学園大学／福岡歯科大学

第18回 3大学合同シンポジウム

生活習慣病と 健康寿命



会場 福岡大学病院 福大メディカルホール

参加費
無料

開催日時
令和7年
9.7(日)
13:30～16:00

プログラム

開会の辞 平井 郁仁(福岡大学病院 副病院長)
当番校挨拶 吉満 研吾(福岡大学 副学長)

13:30

同時開催／

健康相談コーナー

時間:11:30～12:30

会場:同会場1Fホワイエ

第1部 >> 各大学講師による講演

13:35



「お口の健康」が拓く健康寿命の延伸

福岡歯科大学 口腔治療学講座歯周病学分野 准教授 吉永 泰周

14:05



健康寿命延伸に向けた食の役割

～久山町研究を中心に～

中村学園大学 栄養科学部 栄養科学科 准教授 内田 和宏

14:35



2型糖尿病と肥満症の最新の話

～健康寿命の延伸を目指して～

福岡大学病院 内分泌・糖尿病内科 准教授 横溝 久

第2部 >> 公開討論(来場者と講師の質疑応答)

15:20

司会進行 平井 郁仁(福岡大学病院 副病院長)
米田 雅裕(福岡歯科大学 図書館長)

16:00

閉会の辞 米田 雅裕(福岡歯科大学 図書館長)

後援:福岡市教育委員会

▶相談内容

- 福岡歯科大学…お口の健康相談
- 福岡大学…血圧と体組成測定
- 中村学園大学…栄養相談

▶お申し込み方法

右記申し込みフォームより
お申し込みください。
または下記のお電話に
お問い合わせください。

※お知らせいただいた個人情報は
適切に管理し目的以外には使用しません。



申し込みフォーム

お問い合わせ・申し込み先

福岡大学病院 庶務課

〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号

TEL:092-801-1011(内線2812)

FAX:092-862-8200

E-mail:syomu@adm.fukuoka-u.ac.jp

URL:https://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/

| 「お口の健康」が拓く健康寿命の延伸

近年、生活習慣病は国民の健康を脅かす最大の要因であり、予防と管理は喫緊の課題となると同時に、単なる寿命の延伸だけでなく、心身ともに自立した生活を送れる健康寿命の延伸が強く求められています。本講演では、お口の健康、とくに歯周病がいかに生活習慣病と密接に関わり、ひいては健康寿命の延伸に貢献しうることについて、最新の科学的知見に基づき解説します。

歯周病は、日本人の約8割が罹患しているとされる国民病であり、近年の研究により、口腔内の炎症に留まらず、全身の様々な生活習慣病、例えば糖尿病、心血管疾患(狭心症、心筋梗塞)、肥満などと関連していることが明らかになっています。そこで本講演では、まず歯周病の基礎知識と個々の生活習慣病との具体的な関連性について最新のデータを用いて解説します。さらに、歯周病の適切な管理や治療が、これらの全身疾患の改善に寄与し、結果として生活の質の向上、ひいては健康寿命の延伸に繋がる可能性について議論します。

本講演を通じて、参加者の皆様には、ご自身の「お口の健康」が全身の健康と未来の生活の質を左右する重要な鍵であるという認識を深めていただきたいと思います。



福岡歯科大学
口腔治療学講座歯周病学分野
専門分野 歯周治療学

准教授 吉永 泰周

【略歴】

2003年 長崎大学歯学部卒業
2007年 長崎大学大学院歯医学部総合研究科修了 博士(歯学)
2007年 長崎大学病院歯周病治療室 医員
2009年 長崎大学大学院歯周病学分野 助教
2014年 長崎大学病院歯周病治療室 講師
2015年 福岡歯科大学口腔治療学講座歯周病学分野 准教授

日本歯周病学会 専門医・指導医

日本歯科保存学会 専門医・指導医

| 健康寿命延伸に向けた食の役割 ～久山町研究を中心に～

久山町研究は久山町と九州大学によって1961年から始まった日本を代表する疫学研究で、中村学園大学は1985年に住民の栄養素等摂取水準を明らかにするための栄養調査を初めて実施しました。その後、1988年の成人健診(住民健診)から本格的に参加しています。

健康寿命の延伸に向けて、糖尿病や高血圧、脂質異常症といった生活習慣病や認知症などを予防していくことが重要で、その上で食・栄養の役割は欠かせないものです。これらを予防する上で、実際にどのような食品・栄養素を取れば(または減らせば)良いのか、どのような食べ方をすれば良いかを知ることが、健康寿命を伸ばしQOL(生活の質)を高めていくことに繋がります。

これまでの九州大学と中村学園大学との共同研究においての知見を中心に、日本の食生活の変遷についてお話しし、栄養素、食品、食事パターンといった様々な観点での生活習慣病や認知症などに関する研究成果について説明いたします。



中村学園大学
栄養科学部栄養科学科

専門分野 予防医学・栄養疫学

准教授 内田 和宏

【略歴】

1997年 中村学園大学大学院 栄養科学研究科 栄養科学専攻 健康増進科学部門 修了
1997年 中村学園大学・短期大学 常勤助手
2008年 中村学園大学短期大学部 講師
2012年 九州大学にて学位取得(医学博士)
2015年 中村学園大学短期大学部 准教授
2019年 中村学園大学 栄養科学部 准教授

| 2型糖尿病と肥満症の最新の話題 ～健康寿命の延伸を目指して～

生活習慣病の一つである2型糖尿病は、網膜症や腎症といった血管合併症だけでなく高齢社会に伴って併存するサルコペニアや認知症、社会的な不利益をもたらすことも知られています。糖尿病診療は血糖管理をしながら、これらの合併症や併存症をスクリーニングして早期発見、早期治療を行い、糖尿病のない人と変わらない寿命と生活の質(QOL)を図ることが重要です。

一方、肥満は脂肪が過剰に蓄積した状態であり、体格指数(BMI)25以上を指しています。さらに肥満に関連する健康障害を合併すると肥満症となります。欧米人と比べて軽度の肥満にもかかわらず健康障害をもたらす病態の中心にある内臓脂肪蓄積の改善が必要です。

糖尿病、肥満症の病態や合併症は異なりますが、いずれも個々の患者さんに応じて上手く向き合うことで、元気に幸せに長生きすることが重要です。

本講演では、2型糖尿病と肥満症それぞれの疫学や診断、合併症、理療法についてお話しし、福岡大学病院内分泌・糖尿病内科における診療体制について御紹介したいと思います。



福岡大学病院
内分泌・糖尿病内科

専門分野 糖尿病、肥満症、内分泌疾患

准教授(副診療部長) 横溝 久

【略歴】

2005年 高知大学医学部医学科卒業
2005年 九州医療センター 臨床研修医
2014年 九州大学大学院医学系学府医学専攻修了 博士(医学)
2015年 米国ハーバード大学医学部ジョスリン糖尿病センター 博士研究員
2020年 九州大学病院 内分泌代謝・糖尿病内科(第3内科) 助教
2022年 福岡大学病院 内分泌・糖尿病内科 講師、副診療部長
2024年 福岡大学病院 内分泌・糖尿病内科 准教授、副診療部長

日本内科学会:認定内科医、総合内科専門医、指導医

日本糖尿病学会:専門医、研修指導医、学術評議員

日本内分泌学会:内分泌代謝科専門医、指導医、九州支部評議員、学術評議員

日本専門医機構認定:内分泌代謝・糖尿病内科領域 研修指導医